

# 40周年を迎えた八戸珠算連盟

Trend  
Hunter NO.24



このコーナーは旬な話題を、関係者の情報提供を基に皆様にお届けし、企業経営へ活用して頂くことは勿論、地域経済発展を意図するものです。

●昨年の「八戸地方珠算競技大会」。今年3月には50回目を迎える

当所外郭団体の八戸珠算連盟は、昭和49年5月に創立。今年度で40周年を迎えた。本章では、八戸地域の経済の一端を担ってきた珠算業界の動きと、それに連動した同連盟の設立、更には連盟の今後の方向性について記す。

## 右脳を活性化する効果発表が追い風に

珠算は、電卓が普及していった時代（昭和40年代頃まで）、銀行を始めとした事務職の入社条件の資格とされていたこともあり、検定試験等の受験者も多く、全国レベルでの競技大会も開催されていた。

しかし、複雑な計算が可能な電卓や、パソコンの表計算ソフトの普及により、仮に事務職であったとしても、必ずしも一定以上の珠算能力を要求されなくなった。

一時、珠算人口が減少した時期でもあり、その傾向は、比較的長期間に渡って続いた。

だが近年、珠算は再び脚光を浴び始めた。その背景には「能力開発ブーム」がある。珠算は特に右脳を活性化する効果があるとの研究成果が発表されたことが、発端となったもの。

最近では更に研究が進み、「脳トレ」には珠算式暗算が最も有効との発表がされ、小中学生の習い事の中でも注目を集めている。

## フラッシュ暗算等 続々と新規事業を展開

八戸珠算連盟は、昭和49年に当地域の珠算の振興と発展を目的に設立。各種講習会や、「八戸地方

珠算競技大会」の開催等、活発な事業展開を行ってきた。「昔の教え子の子供や孫が、珠算を習いに来る様になり、改めて40周年との時の長さを感じる。当連盟の事業は、各検定試験の開催協力や、毎年3月に実施する八戸地方珠算競技大会、各種講習会が主体だった」

八戸珠算連盟の中屋敷晃会長は、40年の歩みを回顧した。また、近年の能力開発に関する研究で、珠算が大きく見直されてきたことに伴い、同連盟の事業も増え始めている。パソコンを活用した珠算式暗算「フラッシュ暗算」や、小学校の算盤授業へのボランティア出張講師派遣事業等である。

中屋敷会長は「8年前から、七夕まつりの時に、路上でフラッシュ暗算体験を実施。3桁以上の数字を瞬時に足して解答する珠算の達人技を目の当たりにし、入塾した生徒もあった。小学校の算盤授業への講師派遣も以前から行っている。珠算教育を推進したい学校の先生から好評を頂いている」と、新事業に確かな手応えを感じていることを語った。

「珠算界の平均年齢そのものが高くなってきているため、後進の指導員育成は喫緊の課題だ。加え

「珠算を通じた生徒指導が、今後新たに課せられた我々の使命と感じます」

八戸珠算連盟

会長 中屋敷晃 様





「珠算の素晴らしさを更に強く PR していきます」  
—八戸珠算連盟 副会長 工藤哲光 様—

「珠算競技大会最盛期は、参加者 200 名を超え、勢いもあった。各塾共に生徒も多かったが、高齢

## 珠算の持つ良い部分 多くの方に周知

「珠算を通じた人づくりが我々連盟に課せられた、新たな社会的な役割だと思う—  
今後の同連盟の果たす使命について、中屋敷会長は熱心にその想いを語った。

「珠算の選手として、10 年程前まで一般の部の大会に出場していた。スタート前の緊張感が最高で、成績も上がり、楽しく充実していた。但し、塾の生徒の成績は芳しくなかった。塾の生徒を育てることに、もっと力を入れるべきだと思う」と、現中屋敷会長に指摘され、珠算指導に更に力を入

## 生徒指導に年に一度は 「合宿勉強会」を

「少子高齢化社会と言いつつも、塾を始める方はゼロではない。その様な方々を、もっと取込んでいきたい。生活していく上で、珠算は良い影響を与える。その良さをより多くの方々に理解してもらおう事業として始めたフラッシュ暗算は、好評を博している。今後も、珠算の普及・啓発に向けた事業を実施したい」

化や生徒数の減少等で、連盟の会員数自体が減ってきた。今の脳トレブームが業界隆盛の更なる追い風になれば……」  
同連盟の工藤哲光副会長は、最近の珠算業界を取り巻く好環境が、八珠連の組織強化に繋がり、更なる発展に向かうことを願っている。尚、今後の連盟事業について工藤副会長は、こう語った。  
「少子高齢化社会と言いつつも、塾を始める方はゼロではない。その様な方々を、もっと取込んでいきたい。生活していく上で、珠算は良い影響を与える。その良さをより多くの方々に理解してもらおう事業として始めたフラッシュ暗算は、好評を博している。今後も、珠算の普及・啓発に向けた事業を実施したい」

れる様になった」  
同連盟の丸谷喜美枝副会長はこれまでの経緯を語った。  
これまで以上に、より踏み込んだ指導をする様になった丸谷副会長は「素質があり伸びる子でも、親の後押しが得られない場合もあり、残念に思うこともあった」と珠算塾を通して、生徒を育てることの難しさを挙げた。  
「そんな中でも、合宿勉強会では、生徒の生の生活を垣間見ることができ、本当に勉強になる。年一回でもオープン参加で開催できれば、塾の先生と生徒との距離感も縮まり、互いに同じ方向を向いて各々の目標に向かって努力することができると思うからだ」  
最前線で珠算を通じた生徒育成に取り組む丸谷副会長の熱心さが見受けられた。



「合宿勉強会では、生徒の素養を観察でき、生徒指導にも役立ちます」  
—八戸珠算連盟 副会長 丸谷 喜美枝 様—

教育の基礎は、読み・書き・そろばんと称される。珠算はこの教育の基礎の一角を占めるカテゴリーとして扱われてきた。  
当所としても、能力開発も去ることながら、同連盟と協力しながら、珠算を通じた人材育成に力を入れ、更に、珠算教育の普及にも鋭意、取り組んでいく予定。  
● 八戸珠算連盟に関するお問合せは TEL 43-5111 (業務課) までお願いします。

本県は、沖縄や宮城と並ぶ程、珠算が盛んな地域と言われる。中でも八戸地域は、開発された当初からフラッシュ暗算を各塾で取り入れたり、同連盟で、七夕まつりで競技実施する等、普及・啓発にも力を入れてきた。  
教育の基礎は、読み・書き・そろばんと称される。珠算はこの教育の基礎の一角を占めるカテゴリーとして扱われてきた。  
当所としても、能力開発も去ることながら、同連盟と協力しながら、珠算を通じた人材育成に力を入れ、更に、珠算教育の普及にも鋭意、取り組んでいく予定。  
● 八戸珠算連盟に関するお問合せは TEL 43-5111 (業務課) までお願いします。

